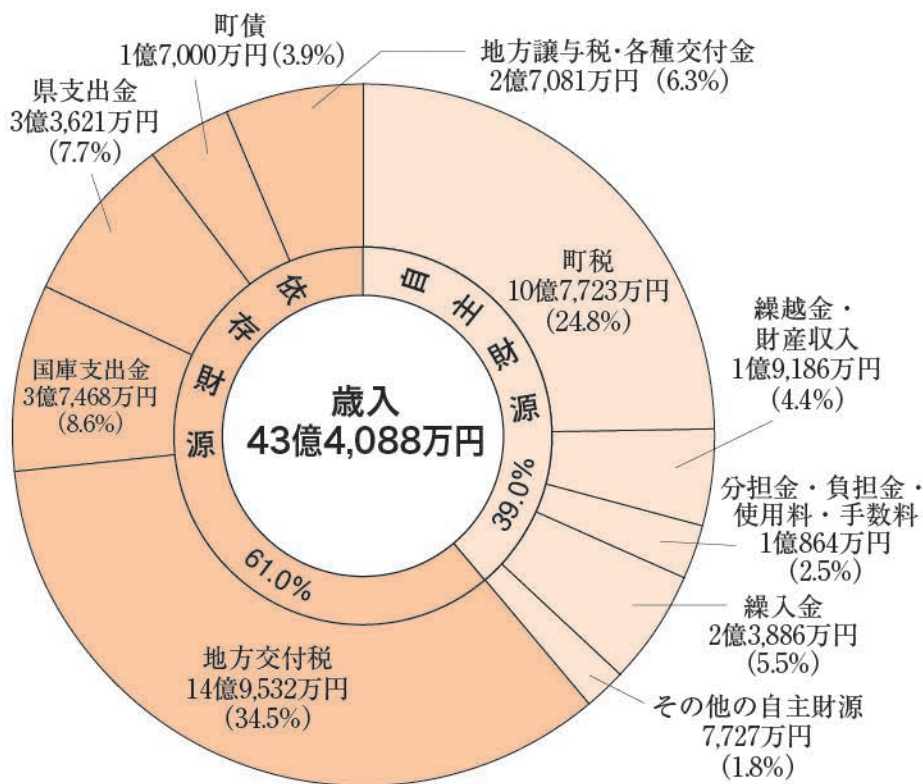


令和元年度 決算報告

令和元年度は、①楽しく子育て・元気で長生き対策、②教育・文化・スポーツの推進、③環境保全、産業・観光振興、④安全で快適な生活基盤の整備、⑤出会いスポット事業の推進の5つを重点施策に掲げ、第5次皆野町総合振興計画の「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現に向けて取り組みました。



一般会計決算額

歳入	43億4,088万円
歳出	40億6,519万円
翌年度への繰越額	2億2,246万円

歳入

歳出

前年度と比べて2億346万円増加しました。

町の主たる自主財源である町税は、個人町民税が292万円の増、固定資産税が403万円の増となった一方、法人町民税が815万円の減、町たばこ税が134万円の減となり、全税目の計では前年度から126万円の減となりました。

最も多くの割合を占める地方交付税は、普通交付税が5,039万円の減、特別交付税が2,072万円の増となりました。また、県支出金は前年度に比べて6,777万円の増となりました。

また、公共施設整備基金から7,113万円、財政調整基金から1億6,017万円、その他の基金から99万円を繰り入れ、施設整備などに活用しました。

①楽しく子育て・元気で長生き対策

高校3年生までの医療費無料化のため、こどもの医療費支給事業として2,896万円を支出しました。また、子育て世帯定住促進奨励補助金として、2,015万円を交付しました。

②教育・文化・スポーツの推進

教育環境向上のため、町立小学校・中学校の特別教室にエアコンを設置しました。これは前年度からの繰越事業で、支出額は5,840万円です。また、マレットゴルフ場建設に向けた土地購入(1,325万円)と、設計業務委託(341万円)を行いました。

③環境保全、産業・観光振興

皆野駅前で開催された「皆野横丁」実施の補助金として、180万円を支出しました。農業振興としては、有害鳥獣防護柵などの設置費補助金などで152万円、農業者の事業拡大のための補助金として「担い手確保・経営強化支援事業費補助金」を2,917万円支出しました。

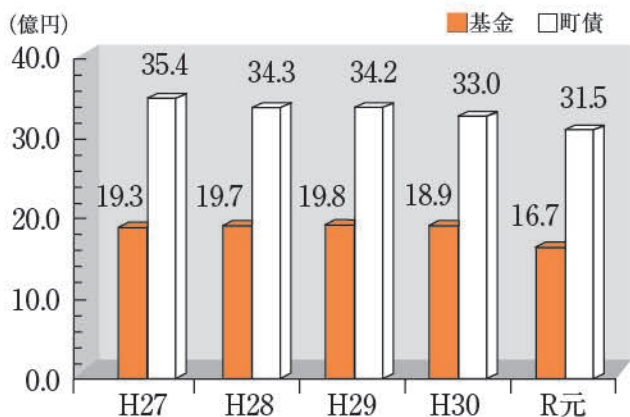
④安全で快適な生活基盤の整備

各地区で町道の改良工事を実施し、生活道路の改良・補修を進めました。道路・橋りょう費の合計は2億3,889万円でした。

⑤出会いスポット事業の推進

旧日野沢小学校跡地を活用した「日野沢川ふれあい広場」の整備に向けて、設計業務委託を行いました(264万円)。また、商工会青年部が実施するまち婚イベントに対し、40万円の補助金を支出しました。

基金と町債残高



基金は貯金を、町債は借金を示します。令和元年度は、平成30年度と比べ基金・町債ともに減となりました。